

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム
実施状況および成果

プログラム名	ハワイ大学研修	
学部・研究科名	経法学部	
プログラム実施期間	2020年2月13日～2月23日	
研修先(国・都市・施設名)	アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市ハワイ大学マノア校	
参加学生数	8名	知の森からの支援者数 8名
プログラム概要	ハワイ大学でアメリカ(ハワイ)社会・政治経済課題について学ぶ。海外の大学での学習体験を通じ、自ら学ぶ姿勢を養い、異文化理解を促進し、英語学習を奨励する。グローバルな社会で学び仕事をするための基礎力を養う。現地でのプログラムは、ハワイ大学の教員による授業とフィールドトリップ、ハワイ大学の授業への参加、現地のNGO訪問(子供支援及び自然エネルギー推進)だが、学習効果を高めるために信州大学での事前学習(2単位分)を義務づけている。研修後は、英語での報告会を行った。	

実施状況・成果

- ①ハワイ大学の教員による授業(英語)(学生のプレゼンも含む)、ハワイ大学の授業への参加(日米関係、沖縄問題):
授業内容:アメリカ(ハワイ)の歴史・社会、多文化共生社会、アメリカとアジア、アメリカ(ハワイ)の経済問題、アメリカ(ハワイ)の政治制度と政治課題、環境問題
研修中の課題:復習・課題レポート作成、授業中のプレゼンとディスカッション準備
 - ②フィールドトリップ:
アリゾナ記念館(パールハーバー)、歴史文化ツアー
 - ③NGO(子供支援と環境問題)訪問
 - ④信州大学での事前学習(2単位、単位外の英会話学習2単位相当)・事後学習(英語での報告会)
- 成果:
参加者全員が積極的にプログラムに参加し、無事に研修を終えることができた。事前学習、ハワイ大学での授業やプレゼン、報告レポート及び報告会での英語発表、フィールドトリップ、ハワイ大学学生・教員との交流を通じ、研修の目的も達せられた。ハワイ大学の授業(日米関係・沖縄問題)に参加し、プレゼン及びハワイ大学の学生との意見交換を行った。参加学生のプログラムに対する評価は非常に高い(研修プログラムに満足:100%、知識・能力を伸ばし達成感を得た:100%)。「知の森基金の支援」と学部の支援により、学生負担が9万円程度で、充実した10日間のプログラムが実施できた。継続的に、事前学習を充実させ英語の学習時間を増やし、プログラムの改善を行っている。研修後も継続的に学生に英語学習を奨励し、ハワイ大学との交流授業企画や留学・英語学習支援を拡充し、グローバル人材育成に関する支援を行って行く予定。参加人数は、去年と同じ8人だった。

学生の声①-経法学部 学生

今回のハワイ大学研修を通じて、主に三つのことを学んだ。一つ目は米国の大学生と日本の大学生との違いだ。私は日本に留学しているが、大学の多くの授業では学生は受け身で、質問せずに終わってしまう。一方で米国の学生たちは、積極的に質問し、他の学生に自分のアイデアもしっかりと伝える。二つ目は歴史を学ぶ重要性だ。なぜなら、ハワイの社会や経済課題を学ぶほぼ全ての授業で歴史的な経緯を教わったからだ。三つ目は平和の尊さだ。第二次世界大戦(太平洋戦争)の起点となった真珠湾を訪問し、初めて戦争被害の大きさを自分の肌で感じたからだ。百聞は一見に如かずで、戦争の残酷さを感じてから、平和の大切さが分かった。

学生の声②-経法学部 学生

私がこの研修で最も価値があったと思うことは2つあります。1つ目はハワイという多文化社会を肌で感じる事ができた点です。研修期間中ハワイの人々に関わる度に自分が日本人であり日本の文化にとっぴり浸かっていたということ意識しました。外側からの日本を認識できた点は今後の多文化社会で生きていく上で大変役に立つ経験になったと思います。2つ目は中学生から教科として勉強してきた英語を実際に使う事ができた点です。今までテストのため(しか勉強したことのない英語で相手に伝わるという感覚は新鮮でした。同時に自分の英語力の不足を痛感させられ、英語を勉強することの必要性を確信しました。この体験も私の英語学習への姿勢に変化を与えました。よって、この2つの経験は今後の学習において重要な経験だったと思います。

パレス



大学授業

